

# QR Translator ®

## 【QR Translatorについて】



QR Translatorは、看板や印刷物を簡単に多言語化する事が出来る世界最初のWebソリューションです。（株式会社PIJINが開発し、日本、米国、中国、香港、ロシアで特許を取得しました。）日本語でしか書かれていない看板や印刷物でも、このQRコードをつけるだけで、読み取った人の携帯端末の設定言語に合わせて翻訳された情報に誘導されます。

## 【QR Translatorの特徴】

- 専用のアプリを必要としません。（汎用的なQRコードリーダーであれば読み取り可）
- 音声読み上げに対応しています。
- 多言語対応のQRコードをわずか1分で生成可能です。
- 多言語の看板や印刷物を製作するコストを大幅に削減出来ます。
- 狭いスペースにも貼ることが出来ます。
- 機械翻訳に加えて、クラウドによる人の翻訳を利用できます。
- QRコードを再発行する必要なく、コンテンツの変更が可能です。
- どの国からどの言語でどれぐらいのアクセスがあったかを分析出来ます。

## 【利用方法】

看板や印刷物にQR Translatorで作成したQRコードをつけて

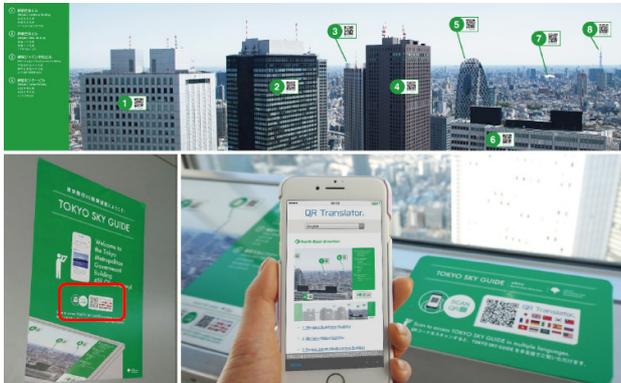


利用者がスマートフォンなどで読み取ると、その端末の言語設定に合わせて翻訳された情報が表示されます。



# QR Translatorはすでにこんな所で使われています

東京都庁の展望台



海外ブランドのショップ



京都伏見稲荷大社の音声案内



パリのサクレ・クール寺院



S&B香辛料のパッケージ



コカ・コーラの自動販売機



有名日本酒メーカーのラベル



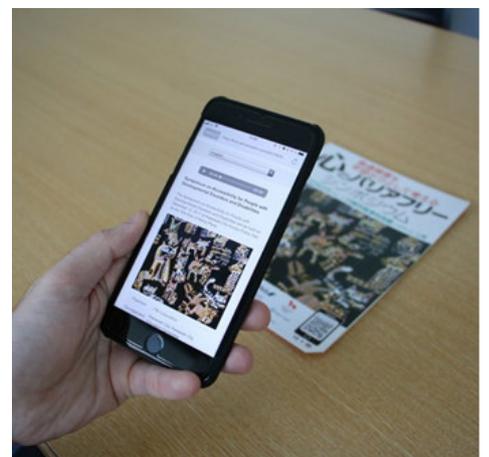
# 新しい事実

視覚障害を持つスマートフォンユーザーの90%以上がQRコード読取り可能

※ 全国規模の実証実験によって揃ってきたデータ



現在のスマートフォンには、障害がある人向けのアクセシビリティ機能が付帯していて、iPhoneであればVoiceOver（ボイスオーバー）、AndroidであればTalkBack（トークバック）という設定を行うと、全盲の人でもスマートフォン上の文字情報を音声で読上げる事が出来ます。



QR TranslatorならQRコードひとつで多言語（外国人）と音声（視覚障害者）に対応可能 → ユニバーサルコードになる